

企画名：「タネ」が生み出す地域の未来～ご当地作物の魅力発信に向けた人材育成プロジェクト～

団体名：特定非営利活動法人ホールアース研究所

1. 報告要旨

私たちの食の根幹をなす「農作物のタネ」にもグローバル化・規格化が進んでいる昨今。農作物の安定供給という恩恵を受ける一方で、生物多様性や地域の食文化が喪失する危険性も孕んでいる。こうした「地域ならではの価値」を再編集し発信ができる人材の育成が、農家や農業全体の社会的な問題を解決する糸口になると考え、本企画の実施に至った。実施にあたっての具体的な目標として、「類似した文化圏である 4 地域での先進事例の共有と有機的なつながりの創出」「活発な情報交換や交流が行われるプラットフォームの構築」の 2 つを掲げた。

1 つ目については、持続的な活動を担保する組織運営モデル(韓国)、生産者・中間業者がそれぞれに利益を享受できるような流通の仕組み(台湾)、“そば”という一つの素材を極め、社会化への突破口を開いていく草の根活動(日本)など、自分たちの活動の延長線上とは別軸にある知見や成功事例を共有し合うことができた。また 2 つ目については、参加者が自発的に SNS のグループを作成し、本企画に影響を受けて実施した活動や体験したイベントの情報を共有している点や、地域間で実際に現地を行き来し交流を行なっている点から、本企画が地域を超えた有機的なネットワークを生み出すきっかけとなったことが示唆できる。

高い熱量をもつ実践者が各地で精力的な活動を展開する反面、社会化にあたり「点」での活動には限界があることも痛感した。その意味で横のつながりを生み出す(=点がつながり「面」となる)ようなこうした場や機会は、1+1=2 以上の力を生み出す基点になると実感することもできた。また同じベクトルで活動を展開する同志と刺激し合うことで、参加者自身の担い手意識が高まることも確認することができた。参加者と密な連携をとりながらこの場のもつ力を最大限に高めていくとともに、より幅広い立場の人材を巻き込むことで、大きなうねりへと育てていきたい。

2. 成果物

1. 「[【実施報告】東アジア～タネが生み出す地域の未来～について](#)」ホールアース自然学校ブログ(2019.6.27)
2. 報告会動画「[\[국제교류\] 동아시아 4 개국 활동가 교류 _ 박미정](#)」(2019.1.24)
3. 事前調査資料(台湾)詹于諄「[Traditional bean seeds conservation practice in Bunun indigenous community](#)」
4. 事前調査資料(台湾)郭華仁「[農民保種運動:台灣經驗](#)」
5. 事前調査資料(台湾)簡子倫「[種子野台](#)」
6. 事前調査資料(韓国)金石基「[傳統農法과 在來種子를 發見하다](#)」
7. 事前調査資料(韓国)朴美貞「[全國女性農民總聯合의 食糧主權 運動](#)」
8. 事前調査資料(韓国)卞現丹、白水蓮「[토종씨드림 土種種子運動 現況](#)」
9. 事前調査資料(日本)西川有貴「[未来へ繋ぐ種と結](#)」